

ArcGIS

10.7

ArcGIS Desktop (ArcMap)

国内データ変換ツール一覧

目次

概要.....	1
データ フォーマット別変換ツール一覧.....	2
国土交通省.....	2
国土地理院.....	2
ゼンリン.....	4
OGC.....	4
その他.....	5

概要

本資料で対象としているアプリケーションは ArcMap 10.7 です。ESRI ジャパンが提供している国内データ変換ツールをデータ フォーマットごとにご紹介します。

変換ツールの入手方法は、大きく分けて 2 つあります。1 つ目は、ArcToolbox にある [変換ツール (国内データ)] ツールセットに含まれるジオプロセッシング ツールを利用する方法です。このツールセットは「国内対応パック」をインストールすると利用できるようになります。

2 つ目は、Esri 製品 サポート ページからカスタム ツール (アドイン) をダウンロードし、インストールする方法です。製品サポート ページは以下からアクセスできます。

<https://www.esri.com/support/esri/>

各種ツールの詳細な操作説明は、各ツールのヘルプをご参照ください。

データ フォーマット別変換ツール一覧

国土交通省

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
DM / 拡張 DM	DM → ジオデータベース / DM データのチェック	●	
地籍フォーマット 2000	地籍フォーマット 2000 → ジオ データベース / ジオデータベー ス → 地籍フォーマット 2000	●	
国土数値情報 1/10 細分区画 土地利用データ	数値地図データ変換ツール		●

国土地理院

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
数値地図 10000 (総合)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 500 万 (総合)			●
数値地図 25000 (土地条件) **			●
数値地図 5000 (土地利用) **			●
数値地図 5m メッシュ (標高)	数値地図データ変換ツール		●
数値地図 250m メッシュ (標高)			●
数値地図 10m メッシュ (火山標 高)			●

数値地図 1km メッシュ (標高/平均標高)			●
2m メッシュ標高データ (中越)			●
1m メッシュ標高データ ***			●
細密数値地図情報 (10m メッシュ 土地利用)			●
数値地図 25000 (地図画像)	数値地図画像変換ツール		●
数値地図 50000 (地図画像)			●
数値地図 200000 (地図画像)			●
基盤地図情報 基本項目 ****	基盤地図情報 (GML) の インポート	●	
基盤地図情報 数値標高モデル ****		●	
数値地図 (国土基本情報) GML 形式	数値地図 (国土基本情報) (GML) のインポート	●	
数値地図 (国土基本情報 20 万) GML 形式		●	
電子地形図 25000	電子地形図 25000 変換ツール		●

※2 数値地図 25000 (土地条件)、数値地図 5000 (土地利用) は、地理情報標準 (JPGIS) 1.0、2.1 版に準拠した XML 形式で記述されたものに対応しています。

※3 市販されているものは 1km、250m、50m、10m、5m および 2m メッシュ (標高) ですが、仕様に沿った 1m のデータもファイルの格納形式を変更して変換可能です (すべてのデータに対応しているわけではありません)。仕様は[数値地図 \(国土基本情報\) メッシュ標高情報データファイル仕様書](#)をご参照ください。

※4 [基盤地図情報 (GML) のインポート] ツールおよび [数値地図 (国土基本情報) (GML) のインポート] ツールは、基盤地図情報の JPGIS (GML) 2.0、2.1、2014 形式に対応しています。

ゼンリン

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
Zmap-AREA II (テキスト データ)	Zmap-AREAII 対応ツール		●
Zmap-TOWN II ※5	Zmap-TOWNII 対応ツール		●

※5 Zmap-TOWN II は ZMD フォーマット レベル 1-5 に対応しています。

OGC

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
OGC GML Simple Features	Quick Import	● ※6	
OGC Web Feature service (WFS)		● ※6	

※6 [Quick Import] は Data Interoperability エクステンションをインストールすると使用できます (ArcGIS Desktop の製品ダウンロード ページからダウンロード可能)。当該エクステンションは日本国内においてライセンス販売を行っていませんが、OGC GML Simple Features のインポート/エクスポート、OGC WFS のインポートに限りライセンス無しでも利用できます。[Quick Import] は [Data Interoperability Tools] ツールセットからアクセスできます。

その他

フォーマット	ツール名	ジオプロセシング	カスタムツール
SIMA (測量データ共通フォーマット)	SIMA → ジオデータベース / ジオデータベース → SIMA	●	
G-XML 2.0	G-XML → ジオデータベース	●	
JMC マップ	数値地図データ変換ツール		●
SXF	SXF → ジオデータベース (SXF Ver.3.0 ~ 3.21) / SXF ヘクスポート (SXF Ver. 3.0 のみ)	●	
GEOSPACE CDS	GEOSPACE CDS 対応ツール		●
地図 XML	法務省地図 XML のインポート	●	

! 注意事項

ArcGIS に関するパッチやサービス パックがリリースされる場合があります。不具合などの重要な問題を修正する可能性がありますので、最新の情報については、以下の Web サイトを参照してください。

<https://www.esri.com/support/esri/>

※Esri 製品 サポート ページを参照するにはログインする必要があります。

ArcGIS Desktop (ArcMap) 国内データ変換ツール一覧

2019年8月8日

ESRI ジャパン株式会社

<https://www.esrij.com/>

Copyright(C) Esri Japan. 無断転載を禁ず

本書に記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。

本書に記載されている内容は改良のため、予告なく変更される場合があります。

本書の内容は参考情報の提供を目的としており、本書に含まれる情報はその使用先の自己の責任において利用して頂く必要があります。

